

ADDITIONAL TECHNICAL INFORMATION

SC-SR1 Plus

SC-SR1 Plus カビ抵抗性試験結果

1 目的

1 成分形シリコン系シーリング材[SC-SR1 Plus 防カビタイプ]のカビ抵抗性試験を、JIS Z 2911:2023「かび抵抗性試験方法」を参考に試験を行い、その結果についてご報告いたします。

2 試験結果まとめ

「SC-SR1 Plus 防カビタイプ」及び「SC-SR1 Plus 標準タイプ」の肉眼と実体顕微鏡観察によるカビ抵抗性試験結果のまとめを表 1、かび抵抗性試験の評価基準を表 2 に示します。

表 1 SC-SR1 Plus カビ抵抗性試験結果（試験体数：5）

SC-SR1 Plus				
試験体名	1 週目	2 週目	3 週目	4 週目
標準タイプ	2	2	4	4
防カビタイプ	0	0	0~1	0~1

表 2 かび抵抗性試験の評価基準

試料表面の発育	評価
肉眼及び実体顕微鏡下でかびの発育は認められない。	0
肉眼ではかびの発育が認められないが、実体顕微鏡下では明らかに認められる。 発育部分の面積は試料の全面積の 25%以下。	1
肉眼でのかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の 25%以下。	2
肉眼でのかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の 50%以下。	3
菌糸はよく発育し、発育部分の面積は試料の全面積の 50%を超える。	4
菌糸の発育は激しく、試料全面を覆っている。	5

カビの発育期間 4 週間後では、「SC-SR1 Plus 標準タイプ」が評価 4 であり「SC-SR1 Plus 防カビタイプ」は評価 0~1 であった。標準タイプと比較すると防カビタイプがカビの発育を抑制されていることを確認した。

3.試験方法

カビ抵抗性試験を JIS Z 2911 : 2023「カビ抵抗性試験方法」プラスチック製品の試験方法 B を参考に試験を行った。

- ① PDA 寒天培地で 25℃, 7~14 日間、各使用カビを前培養し、その集落から孢子を回収して 0.05%Tween80 液で約 10⁶/mL の孢子液を作製した。
- ② 各使用カビの孢子液を 1.5 mL ずつ混合し、遠心分離器を用いて 3 回洗浄した。
- ③ グルコース添加無機塩寒天培地上に載せた試料表面に②で作製した混合孢子液を 0.1 mL 接種した。
- ④ 1 種類の試験体につき n=5 で実施した(a,b,c,d,e)。
- ⑤ 29±1℃、湿度 95%以上に保った密閉容器に入れて 4 週間培養した。
- ⑥ 1 週目から 4 週目まで各週にカビの発育を観察し評価した。4 週目を最終評価とした。
- ⑦ なお、グルコース添加無機塩寒天培地に単一孢子懸濁液を 1 滴ずつ接種し、29±1℃で 3 日間培養後、それぞれのカビの菌糸の発育を確認した。

参考文献番号:

NPO 法人カビ相談センター発行【「CFJC 委 24-239」シーリング材のカビ発育試験確認試験】

以上

免責事項: 本書に記載されている、当社製品の施工及び使用に関する情報およびアドバイス(あわせて以下「本件情報」といいます。)は、Sika が現時点での知識及び経験に従い誠意をもって提供するものであり、当社製品が適切に保管され、適切に取扱われ、また、Sika の推奨に従って通常の状況下で適切に施工されることを前提としております。本件情報は、本書に明記された施工条件による施工と明記された製品にのみ適用されます。例えば被着材の変更など、施工条件が変更される場合、または、異なる用途で使用される場合は、Sika 製品を使用する前に、Sika 技術サービス部門にお問い合わせ下さい。本件情報は、使用者が意図する製品の用途や目的について検証することを免除するものではありません。すべての注文は、Sika の現時点での販売条件と納品条件に従うことを条件として、受注いたします。使用者は、使用される製品に関する最新のプロダクトデータシートを常に参照して下さい。それらのコピーはご要望に応じて提供いたします。

© 2013 Sika Schweiz AG

ADDITIONAL TECHNICAL INFORMATION

JP2_SB-2024-0271-TAT
10/2024/Ver.1

SC-SR1 Plus かび抵抗性試験結果

シーカ・ジャパン株式会社
Applied Engineering & Technical Service
Sealing & Bonding
〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬 1-1
<https://jpn.sika.com/>

BUILDING TRUST

